（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　優悠舘

作成日：　平成　　24　年　5月　10日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	深夜における地震・火災等の災害時の地域住民の協力体制を図ること。	新興住宅地域でもあるため、自治会活動も含め協力関係はやや低調である。地域担当の民生児童委員を運営推進会議委員に依頼し、委員が中心となって地域の協力体制を構築していきたい。	理解のある家庭等のピックアップ等核となるところを中心に協力体制の構築をはかり、輪をひろげていく。	10ヶ月
2	36	職員のマナー研修の実施。	職員の入れ替わりがほとんどないため、あらたまったマナー研修の必要性はなかったが、このたび新職員の採用を行ったのを契機に在職中の職員も含め定期的にマナー研修を実施していきたい。	少人数であり、常に入居者、家族との信頼関係は保たれている。ただそのことが逆に接遇マナーの欠如になることも含んだ上での研修内容を心がけたい。	3ヶ月
3					
4					
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。